

2000年1月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

500 hPa 高度では、極渦の中心はカナダ多島海にあり、極付近は負偏差となった。中央シベリアから太平洋中部、大西洋からヨーロッパにかけては正偏差、ロシア西部からトルコ、アラスカから太平洋東部では負偏差が分布した。第4～5半旬には大西洋北東部でブロッキング高気圧が持続した。アフリカ北部から太平洋中部にかけての200 hPa 強風域は平年に比べて西に30度程度偏っていた。熱帯の対流活動は、インド洋東部から東南アジア、南アメリカ北部、ギニア湾付近からアフリカ南部では平年よりも活発で、中部赤道太平洋、インド洋西部、オーストラリア北東部では不活発だった。200 hPa の大規模発散域の中心は平年より約20度西に偏っていた。SOI (南方振動指数) は+0.4で先月より正の値が小さくなった。

世界の天候

① 中国の多雨

中国では広い範囲で月降水量が多かった。中国のチンチャン (長春) で16 mm (552%)。中国内陸部では、大雪により3万頭以上の家畜の死亡が伝えられた。

② インドの高温

インドのほぼ全域で月平均気温が高く、南部を中心に異常高温となった。インドのマドラスで25.6°C (+1.0°C)。

③ 中央アジアからトルコの多雨

④ ヨーロッパ西部の少雨

ヨーロッパ西部では月降水量が少なかった。フランスのニースで8 mm (10%)。

⑤ ヨーロッパ南西部からアフリカ北西部の低温

地中海周辺は月平均気温が低かった。アルジェリアのアナバで9.1°C (-1.9°C)。

⑥ アフリカ西部の高温

⑦ 米国南西部の高温

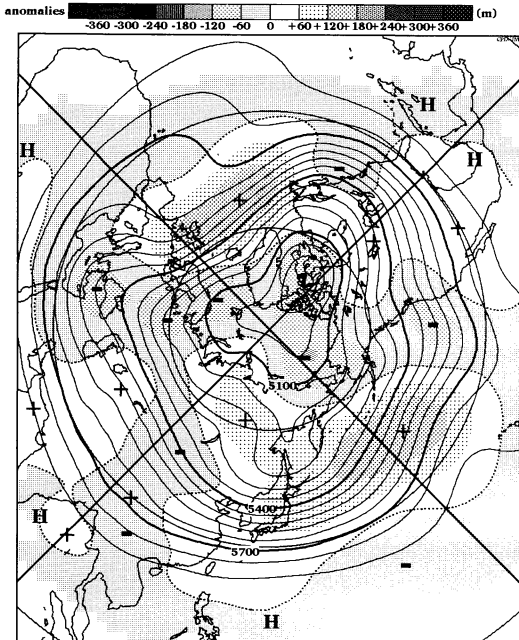
米国南西部からメキシコ北部にかけては、月平均気温が高かった。米国のラスベガスで10.8°C (+3.5°C)。

⑧ ミクロネシアの高温

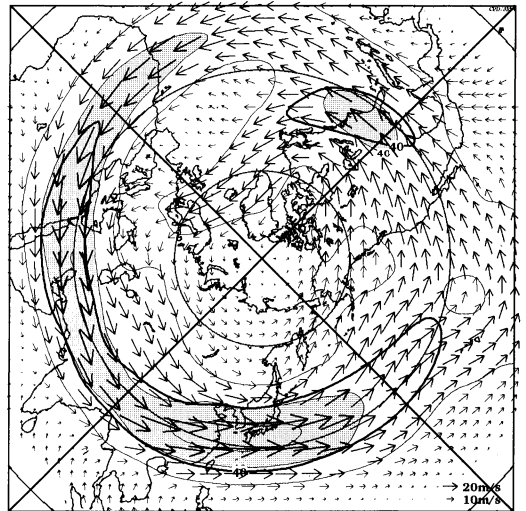
⑨ オーストラリア西部の低温・多雨

オーストラリアは全域で月平均気温が低かった。オーストラリアのミーカサラで27.6°C (-3.6°C)。しかし一方で、下旬にオーストラリア北東部では、日最高気温が40°Cを超える熱波の被害が伝えられた。

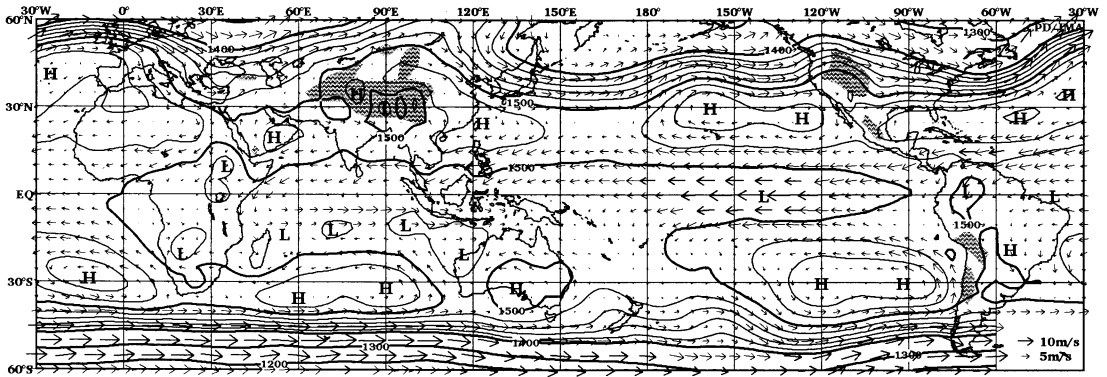
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 佐藤兼太郎)



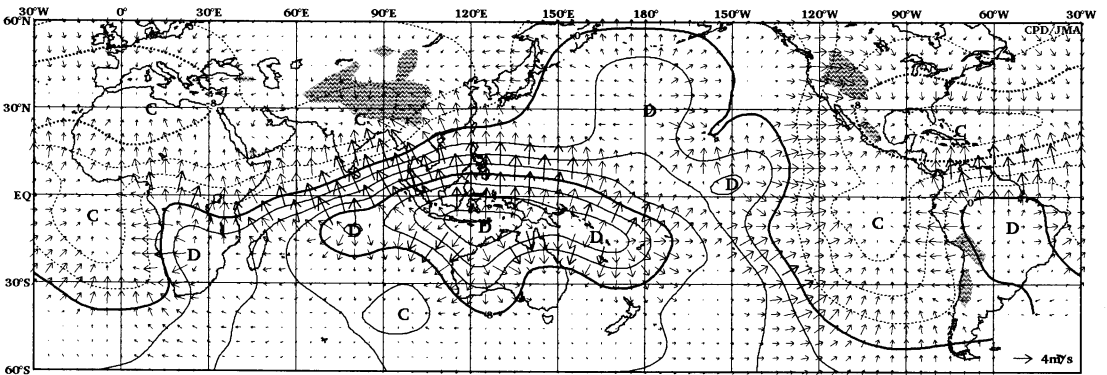
2000年1月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m. 平年値は1961～1990年のデータに基づくもの。



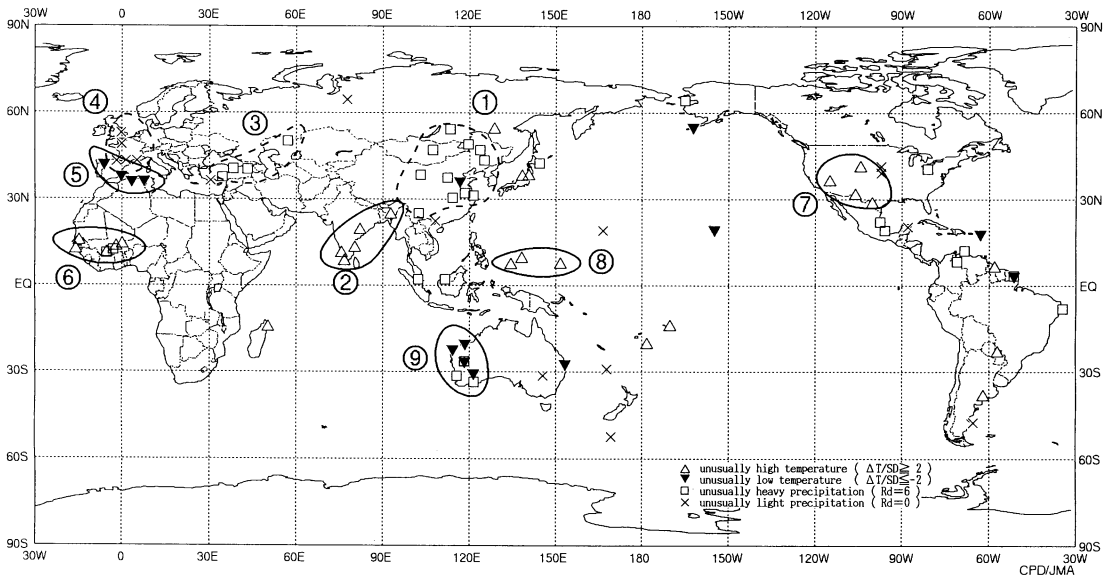
2000年1月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は平年で40 m/s以上。平年値は1979～1996年のデータに基づくもの。



2000年1月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2000年1月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2000年1月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.